



米日カウンシル

2014年 活動報告書



羽ばたく力を次世代に

目次

ご挨拶.....	3
米日カウンシルについて.....	4
シグネチャー・プログラム	
2014年アニュアル・カンファレンス.....	6
在米日系人リーダー訪日プログラム.....	8
アジア系アメリカ人リーダー訪日プログラム.....	9
女性のリーダーシップ育成.....	10
教育・ネットワーキングのプログラム	
食を通じた外交.....	12
ガバナーズ・サークル.....	13
ビジネス界・議会のネットワーキング.....	14
地域プログラム.....	15
在米大使、総領事及び在米日系人リーダー年次会合.....	16
TOMODACHIイニシアチブ	
TOMODACHIについて.....	18
TOMODACHIプログラム.....	19
TOMODACHI新生リーダープログラム.....	21
米日カウンシル・メンバーによるTOMODACHIへの貢献.....	22
役員・スポンサー等	
役員.....	24
スポンサー.....	27
メンバーシップ.....	30
追悼の記.....	31



親愛なる友人の皆様

米日カウンシルを代表し、本報告書を通じて2014年の主要な活動を皆様にご報告できることを嬉しく思います。当カウンシルに惜しみない支援を続けて下さるサポーター、役員、メンバー、アソシエイト・メンバー、フレンドの皆様のお力と、加えて勤勉で有能なスタッフの働きにより、2014年も数々の多様なプログラムを通じてより大きな成果が得られことを感謝申し上げます。

次世代のリーダー育成に取り組むTOMODACHIイニシアチブは、米日カウンシル最大のプログラム事業です。昨年、当カウンシルは50を超える米国と日本のプログラムを支援し、1,300人以上の若者が異文化交流プログラムに参加することを可能にしました。

3月のウーマノミクス・イベント、そして今年も成功を収めた5月のウイメン・イン・ビジネス・サミットを通じ、米日カウンシルは女性のリーダーシップ育成を支援しました。また7月には、ガバナーズ・サークルを通じて日本の知事6名と各県のビジネス・リーダーをシリコンバレーにお迎えし、州・県レベルでも日米間の経済連携を促進いたしました。

10月のアニュアル・カンファレンスでは、ハワイのアジア太平洋地域における歴史・文化・戦略上の重要性を最大限に活用して、あらゆる地域からリーダーの方々をお迎えしました。そこでは、カンファレンスの一環としてユニークな料理フェスティバルを開催し、ハワイと日本の有名シェフによるコラボレーションを実現して、大変な好評を博しました。11月には日米関係につながるのあるアメリカ人リーダー構成の多様化を視野に入れ、アジア系アメリカ人の州議会議員の方々を日本にお招きしました。また、日米関係に関心のある日本のビジネスリーダーのネットワークを広げるため、日本でビジネス・アドバイザー・ボードを発足させました。

当該2014年活動報告書は、従来の英語版に加え、今回初めて日本語版も発行することになりました。また米日カウンシルは、2015年11月9日から10日にかけて、日本で初めてとなるアニュアル・カンファレンスを東京で開催するなど、今後も引き続き日本でのプログラムを拡大発展させて参ります。

米日カウンシルの独自性は、日米関係の長期的な重要性や影響力を確実にする新しい機会やイニシアチブを作り出すため、日米のあらゆる部門の献身的なリーダーに呼びかけ連帯を図るという点にあります。

退任された当カウンシルのトーマス飯野前理事長に心から感謝を申し上げます。飯野氏には2008年後半の創設時から2014年12月まで理事長を務めていただきました。今後は創設理事長として役員会に残っていただきます。メンバー及びサポーターの皆様お一人お一人のこれまでの多大なご支援に感謝するとともに、日米関係の更なる強化に向けて、全力で取り組んで参りますので、引き続き米日カウンシルに対するご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

アイリーン・ヒラノ・イノウエ
会長

デニス・テラニシ
理事長

米日カウンシルについて



使命

米日カウンシルは、日系アメリカ人のリーダーシップのもと、グローバルな視野で日米関係の強化に専念する組織です。米日カウンシルは、ネットワーキングやリーダーシップの革新的なプログラムを通じ、人と人との交流において、あらゆる世代の日本人とアメリカ人を活気付け、積極的な活動を奨励する役割を果たします。また、活気溢れるダイナミックな日米関係の構築に貢献できる次世代のリーダーを育成します。

ビジョン

米日カウンシルは、日米関係に取り組むリーダーの多様性により強化された、活力溢れるダイナミックな日米関係を構築すること、ならびに両国とアジア太平洋地域にとって有益となる、前向き且つ効果的な協調を促進することを目指します。

教育的非営利団体である米日カウンシルは2009年に設立され、ワシントンDCに本部を置き、カリフォルニアと東京にスタッフを置いています。2012年には、TOMODACHIイニシアチブを支援するため、米日カウンシルージャパンが設立されました。2013年には公益財団法人に認定された米日カウンシルージャパンは、東京を本部としています。

「米日カウンシルのような組織とその熱心なメンバーによる草の根の取り組みは、世界をより豊かで公正で、民主的なものとするための日米両国の取り組みを後押しするという意味で重要な役割を果たしています。」

— ジョン・ケリー 米国国務長官

「米日カウンシルは、日本人と日系人のネットワークづくりや次世代の人材育成事業等に取り組んでいます。[TOMODACHIイニシアチブやTOMODACHIイノウエ・スカラーズ・プログラムのような]プログラムを通じ、両国の青少年交流が一層促進され、日米同盟の更なる強化に資することを期待しています。」

— 安倍 晋三 内閣総理大臣

シグネチャー・プログラム:

2014年アニュアル・カンファレンス
在米日系人リーダー訪日プログラム
アジア系アメリカ人リーダー訪日プログラム
女性のリーダーシップ育成



2014年アニュアル・カンファレンス



アニュアル・カンファレンスは、政府、実業界、学界ならびに非営利セクターから地方・国家・国際レベルのリーダーが一堂に会し、日米関係にとって重要な課題や機会を話し合う場です。

『日米関係の成長、持続性ならびに安全保障を促進する相互の繋がり』と題した2014年アニュアル・カンファレンスは、10月9日から10日にかけてハワイ州のホノルルで開催されました。カンファレンスの一環として、マウイへの研修ツアーやハワイと日本の味を提供する料理フェスティバル等も開かれました。



基調講演者の飯島彰己氏、ハリー・B・ハリス・ジュニア海軍大将、マリリン・A・ヒューソン氏とそのご家族、ならびに米日カウンシル幹部

基調講演者

アニュアル・カンファレンスでは日米両国の公共・民間部門から3名の基調講演者をお迎えしました：

- ・ ハリー・B・ハリス・ジュニア海軍大将、米太平洋艦隊 司令官
- ・ マリリン・A・ヒューソン氏、ロッキード・マーティンコーポレーション 会長、社長 兼 最高経営責任者
- ・ 飯島彰己氏、三井物産株式会社 代表取締役社長

安倍晋三総理大臣、アーネスト・モニツ・米国エネルギー長官、キャロライン・ケネディ駐日大使、佐々江賢一郎駐米大使からも祝辞を頂戴しました。



「米軍の成功とオバマ政権が進めるアジア太平洋における『リバランス』のためには多様性が不可欠です。実際、我々は、団結することでより強くなれます。我々の強みは、自国の人々、何世代にもわたる兵役の歴史、国境等の境界を超えた関係、我々の多様性そのもの、そして精力的に活動する米日カウンシルのような組織による強い支援にあります。」

— 米太平洋艦隊司令官 ハリー・B・ハリス・ジュニア海軍大将

生涯功労賞

米日カウンシルは2014年アニュアル・カンファレンスで初めて、日米関係の促進に功績のあった方々に対して生涯功労賞を授与しました。2014年の受賞者は以下の通りです：

- ・ ポール・テラサキ博士、テラサキ財団 会長
- ・ ジョージ・アリヨシ知事、元ハワイ州知事
- ・ 加藤良三大使、元駐米特命全権大使



「ゲームチェンジャー」とのディスカッション

ジャン・ヤネヒロ氏の主導で、「ゲームチェンジャー」—それぞれの分野で先駆者となった日系アメリカ人—とのディスカッションがもたれました:

- ・ ジョージ・タケイ氏 (ホサト・エンタープライズ社 俳優)
- ・ アン・ナンバ氏 (アン・ナンバ・デザイン)
- ・ 比嘉ジェームズ氏 (フィランソロピック・ベンチャーズ・ファウンデーション 事務局長 及び インデックス・ベンチャーズ メンター・イン・レジデンス)
- ・ デュエイン・クリス氏 (aioグループ 会長)



「両国の絆は不滅です。そして今日、その絆はこれまで以上に重要なものとなっています。我々は共に民主主義、人権、法の支配に確固たる責任を持って臨んでいます。しかし今日、これらの価値は世界の各地で攻撃されています。我々は共に国家を守り、強く安定した世界をもたらす導き手となることができます。」

—マリリン・A・ヒューソン・ロッキード・マーティンコーポレーション会長、社長兼最高経営責任者



分科会

「国際市場における多様性と包括性」、「観光とイベントを通じた経済開発」、「クロスカルチャー・リーダーの育成」等、アニュアル・カンファレンスの8つのパネル・ディスカッションと4つのラウンド・テーブル会議で日米関係のさまざまな側面が考察されました。



2014年のカンファレンスについて

- ・ 今回の米日カウンシル・アニュアル・カンファレンスはこれまでで最大規模のものとなりました。メンバー250名と法人会員の代表者70名を含め、参加者は554名となりました(2013年度から29%増)。
- ・ 米日カウンシルはハワイにメンバーが多く、幾度もイベントを開催していますが、今回が「アロハ・ステート」での初のアニュアル・カンファレンスとなりました。



メンバーのための一連の行事、「メンバーズ・デイ」の一環としてパネル・ディスカッションに参加した新浪剛史氏(サントリーホールディングス株式会社代表取締役社長、米日カウンシル評議員)とジョン・V・ルース氏(前駐日米国大使)



オープニング・レセプションで歌を披露する
KONISHIKI 氏

アニュアル・カンファレンス写真撮影:カズ・タナベ

在米日系人リーダー訪日プログラム



在米日系人リーダー訪日プログラム (JALD) は、全米各地から選出された日系アメリカ人リーダーが訪日し、日本の実業界、政府、学术界、非営利や文化セクターのリーダーと交流するプログラムです。

2014年の参加者は2014年3月7日から15日にかけて訪日しました。一行は福岡県を訪れ、小川洋知事を表敬訪問、国際交流基金日米センターと米日カウンスル共催のセミナーでスピーカーとして登壇し、福岡県議会議員とも会合をもちました。その後東京で安倍総理大臣など官民の指導者の方々とお会いしました。

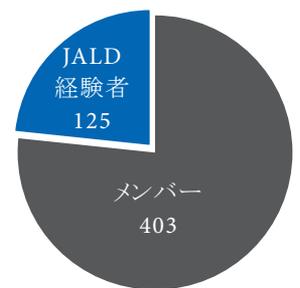
本プログラムは、外務省が主催しています。

2014年の参加者について

- ・ 新一世(第二次世界大戦後にアメリカに移住した日系人一世)から四世まで、各世代からの代表者で構成されました。
- ・ ホノルルからボストンまで、5,078マイルにわたるアメリカ各地から参加しました。
- ・ 日本でのルーツも北海道から沖縄まで2,000マイルにわたっています。

JALD経験者について

JALD参加者の多くが訪日前から米日カウンスルのメンバーであったり、訪日後にメンバーとなったりしています。403人のメンバーのうち125名がJALDプログラムの経験者です。



「日本人女性のキャリア向上はほぼすべての会合で話題になりました。…この訪日プログラムでは、海外旅行からソーシャル・メディアまでさまざまな手段で変化を作り出そうと努力している若者や、職場での改革を実践してきた伝説的なビジネス・リーダーの方々、そしてもちろん、多くの女性自身からもいい刺激を受けました。」

— 2014年参加者 レオナ・ヒラオカ

「私にとって今回が初めての訪日でしたので、日本の印象について皆に聞かれました。私はいつも、(1)日本での『サービス』へのこだわりに驚かされた、(2)この旅で自分が疑いなくアメリカ人であり、同時に間違いなく日本人であることがはっきりした、と答えていました。」

— 2014年参加者 ゲイリー・ヤマシロヤ

アジア系アメリカ人リーダー訪日プログラム



アジア系アメリカ人リーダー訪日プログラム(AALD)を通じ、米日カウンシルは、アジア系アメリカ人の政治家と連携して、米国の立法機関において日米関係についての理解を広めています。また、政界、政府、ビジネス界、市民社会の多様なリーダーの相互の繋がりを醸成しています。

初回である2014年のプログラムでは、多文化的なバックグラウンドを持つ多様なアジア系アメリカ人の州議会議員を、米国各地から合計5名選抜しました。一行は、11月14日から22日にかけて東京と京都を訪問し、日本の政治・行政のリーダー、企業の幹部、非営利組織のリーダーと面談して意見交換を行い、日米関係に役立つネットワークを構築しました。また、「リーダーシップの多様化:アジア系アメリカ人州議会議員

が歩んできた道のり」と題した東京でのパネル・ディスカッションにて、各々が経験した、アジア系アメリカ人個人として、また政治家としての様々な道のりについて話しました。

AALDは笹川平和財団が後援し、米日カウンシルが全米州議会議員アジア太平洋系アメリカ人幹部会と州議会全米協議会と連携して実施しています。

2014年の参加者について

- ・ 日本、中国、韓国、インド、ベトナムにルーツをもっています。
- ・ ハワイ、マサチューセッツ、ニュージャージー、テキサス、ワシントン各州の州議会議員です。



「政治・経済や人と人とのつながりなど、日米関係を強化するため、さまざまな課題について5人のアジア系アメリカ人州議会議員の方々とは有意義な議論を交わす素晴らしい機会に恵まれました。[両国の]関係をさらに強化する方法について皆さんから重要な助言をいただきました。」

— 中山 泰秀 外務副大臣

「[日米]関係の多様性と重要性についてよく知ることができ、21世紀の経済、文化、安全保障面における協力体制となる可能性のあるものを支持するための知識も身につきました。」

— 2014年参加者 ラジ・ムケルジ議員

女性のリーダーシップ育成



ウィメン・イン・ビジネス・サミットの様子



(左から)ウーマノミクス・イベントで登壇したローヤン・ドイ氏
(モデレーター)、国谷裕子氏、久下香織子氏、本田桂子氏、
キム・アザレリ氏

「男女平等は実現可能であり、全員のためになる
ということを知ることが自分でも理解しなければなりません。
それが理解できれば、変化はそれほど難しく
ないと思います。ただ、自分の意識を変える必要
があるのです。」

— 久下 香織子氏(フジサンケイ・コミュニケーションズ・
インターナショナル、シニアアンカー・特派員)

「あらゆるレベルで女性の登用が進むこと、そして持続していくこと、一部の女性だけが輝くだけではなく、またこの動きを定着させていかなければなりません。」

— 安倍 晋三 総理大臣

「私たちはみな自分の生活の中で変化を作り出すことができます。自分の考えで行動を起こしたり、夫にもう少し助けてくれるよう頼んだり、家に病気の子がいる同僚を手助けしたりすると、それが私たちの周りの世界を変えていくのです。そしてこうした小さな変化が積み重なっていくのです。」

— キャロライン・ケネディ大使

女性のリーダーシップは、米日カウンシルにとって引き続き重要なテーマです。2014年にはいくつかのイベントとプログラムでこの動きを取り上げ、活発な対話とネットワークの強化を促進し、あらゆる世代の男女にインスピレーションを与えました。

ウーマノミクス・イベント

3月にワシントンDCで「ウーマノミクスの目標を達成するために」というタイトルでパネル・ディスカッションが開催され、日本の経済・社会問題に関する専門家、女性の被雇用者の地位向上活動に関する専門家、異文化での業務経験をもつ日米の女性等が集まりました。

米日カウンシル・在日米国商工会議所2014年ウィメン・イン・ビジネス・サミット

このサミットは米日カウンシルと在日米国商工会議所の共催で5月に開催されました。700名を超える出席者が集まり、安倍総理大臣やキャロライン・ケネディ駐日米国大使、米日カウンシル理事およびウーマノミクス運動の提唱者であるキャシー・松井氏など各界のリーダーの講演に耳を傾けました。米日カウンシル理事ローヤン・ドイが本イベントを企画し、米日カウンシルの女性メンバー数名が分科会の司会を務めました。

女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム(WAW! TOKYO 2014)

安倍総理大臣の招待を受け、9月、アイリーン・ヒラノ・イノウエが東京の「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム」に出席し、社会で女性を支援するために必要なインフラとして、ネットワークと意識改革の重要性について論じました。アイリーンは東京都との関連イベントでも講演を行いました。

教育・ネットワーキングのプログラム:

食を通じた外交

ガバナーズ・サークル

ビジネス界・議会のネットワーキング

地域プログラム

在米大使、総領事及び在米日系人リーダー年次会合



食を通じた外交



スティーブン・カガワ氏、アイリーン・ヒラノ・イノウエ会長と12人のシェフ

料理フェスティバル写真提供: トライアックス・オキモト



「うかい」でイベント共催者として
話す鶴飼正紀氏と蓮見正純氏



とうふ作りのデモンストレーション

異なる文化の料理を共有することは、文化を超えた対話と理解の促進につながり、持続的な人間関係の基盤を構築します。この信念に基づき、米日カウンシルは、2014年から2015年にかけて、米国各地と東京で「食を通じた外交」のプログラムを展開しています。

「とうふ屋うかい」でのイベント

「東京 芝 とうふ屋うかい」で開催された5月のレセプションで食を通じた外交イニシアチブが発足しました。100人を超えるゲストが集い、会話と日本の伝統的な味を楽しみました。とうふ料理を初めとする数々の料理が振る舞われ、とうふ作りのデモンストレーションも披露されました。

料理フェスティバル

ホノルルで開催された2014年アニュアル・カンファレンスにおいては、ハワイと日本の12人のシェフによる料理フェスティバルが開催されました。出場シェフは互いに料理のテクニックや材料について情報交換をしながら、日本人とアメリカ人の双方にとって魅力的な料理を作りました。タロ芋やハワイ産アワビ、パイナップル、アイランド・ポークなど地元の食材が用いられました。カウンシル・メンバーのスティーブン・カガワ氏

のご尽力によりこの大規模なイベントの開催が可能となりました。

「食を通じた外交」地域プログラム

このプログラムでは、日米関係のステークホルダー、スポンサー、米日カウンシルのメンバーが集まり、創造的な料理を囲んだネットワーキング・イベントに参加します。同プログラムは複数都市で開催され、そのうちの一つヒューストンでは、11月にセント・トーマス大学において、カウンシル・メンバーのドナ・コール氏が中心となり、ジャパン・フード・フェスティバルが開催されました。



料理を振る舞うロイ・ヤマグチ・シェフ



ヒューストンでのジャパン・フード・フェスティバル

「シェフとして、食が関係促進に果たす役割を痛感しています。実際、食事を共にするというのは最も古い外交手段の一つなのです。」

— 米日カウンシル評議員
ロイ・ヤマグチ・シェフ



ハワイでスピーチをする
カウンシル・メンバーの
スティーブン・カガワ氏

ガバナーズ・サークル

2010年以来、米日カウンシルは州と県レベルの日米経済協力を促進すべく、ガバナーズ・サークルのイニシアチブを主導してきました。

シリコンバレー知事会議

2014年7月、米日カウンシルは、スタンフォード大学フリーマン・スポグリー国際研究所のショレンスタイン・アジア太平洋研究センターとの共催で、シリコンバレーにて2日間に亘る知事会議を開催しました。大分県、岡山県、佐賀県、静岡県、広島県並びに福岡県の6県の知事が、各県からシリコンバレーにて事業展開を希望する企業とその展開を支援する県職員と共にシリコンバレーを訪問し、本会議に参加しました。これら代表団の75人を含め、200人以上が会議に出席しました。

「シリコンバレーの成功に続くことを目標に、研究開発を促進する『東九州メディカルバレー』の構想を進めています。」

— 広瀬勝貞 大分県知事

このイベントのハイライトは初日に行われた6人の県知事によるパネル・ディスカッションで、各県の経済力や将来に向けて注目すべき点について意見交換が行われました。

イベント2日目は日本の代表団とゲストがIT、自動車、ヘルスケア・バイオ医療、消費財の4つの業界別グループに分かれ、米日カウンシルのメンバーを含む各業界の専門家の主導で、シリコンバレー及びアメリカにおけるノウハウや最新の動向、慣習について話し合いました。

このイベントで、日本の各参加都道府県の代表は、さまざまな分野のシリコンバレーの革新的企業やパイロット・プロジェクト、最先端技術に触れました。米日カウンシル評議員会会長でスタンフォード大学アジア太平洋研究センター名誉所長でもあるダニエル・オキモト博士がこの知事会議を主導しました。



(左から)佐賀県、大分県、岡山県、静岡県、福岡県、広島県各知事



6人の知事と米日カウンシル幹部 (写真提供: 共同通信)



カウンシル・メンバーのロナ・ティソンとデニス・テラニシ副理事長



自動車に関する分科会で話すウォレス・ツアーハ理事

「広島県では3年間で父親の育児休暇取得率が1.2%から7.2%に増えました。実際、私も知事として日本で初めて育児休暇を取得しました。」

— 湯崎英彦 広島県知事

ビジネス界・議会のネットワーキング



1. ビジネス・アドバイザー・ボードの設立を主導した米日カウンスル評議員会副会長 田中正明氏(中央)
2. 公共政策プログラムで意見交換を行う(左から)アイリーン・ヒラノ・イノウエ氏とモデレーターのマイケル・シファー氏、パネリストのトム・ハーキン上院議員(民・アイオワ州)、メイジー・ヒロノ上院議員(民・ハワイ州)、フランク・ジャヌージ氏、ジェフ・ローウェンスタイン氏

ビジネス界のネットワーキング

ビジネス・アドバイザー・ボード

米日カウンスルは2014年にビジネス・アドバイザー・ボードを設立しました。これはアメリカで勤務経験があり、米日カウンスルの取り組みにも詳しいビジネス・リーダーの集まりです。

11月にはビジネス・アドバイザー・ボードの創立記念レセプションが東京で開催されました。約70名が出席し、米日カウンスル評議員会副会長の田中正明氏と米日カウンスル評議員である藤崎一郎前駐米大使がスピーチを行いました。

日本人と日系アメリカ人のビジネス・ネットワーク

米日カウンスルは、2014年も日本人と日系アメリカ人のビジネス・ネットワークの活動を引き続き行いました。2014年アニュアル・カンファレンスの時期に合わせ、ハワイ州のホノルルにおいて、米日カウンスル幹部と米国に駐在する日本のビジネス・リーダーの間で意見交換がなされました。



(左から)米日カウンスル副理事長ヘンリー太田氏、アイリーン・ヒラノ・イノウエ氏、ホアキン・カストロ下院議員(民・テキサス州第20区)

議会のネットワーキング

米日カウンスルは、議員交流イニシアチブを通じて、日米の議員間の会話と交流を州・地方・国家レベルで促進しています。

2014年4月には、20名を超える日本の国会議員を米連邦議会に迎えたレセプションに協力しました。

年間を通じて、米日カウンスルのメンバーは、日本ハワイ友好議員連盟メンバーや女性議員など、日本の国会議員と頻りに東京で会合をもちました。

7月には、米日カウンスルは、日米文化教育交流会議(CULCON)との共催で、公共政策プログラムとそのレセプションを米連邦議会で開催しました。

地域プログラム

米日カウンシルは年間を通じて地域プログラムを開催しています。そこでは、日本人、アメリカ人の双方が、社会的・職業的なネットワークを構築し、日米関係における協力分野について協議します。2014年に行ったイベントの一部を以下にご紹介します。

ボストン

米日カウンシル理事である厚子・フィッシュ氏とフィッシュ・ファミリー財団の主催で、日米関係を祝う行事が開催されました。TOMODACHIサントリー音楽奨学金を受けてパークリー音楽院でサックスを学ぶ熊谷駿氏等をゲストとして迎えました。



デンバー

(左)ソルトレークシティやニューメキシコから車で駆けつけた方も含め、本イベントには70名を超えるアメリカ人と日本人のリーダーが参加しました。ジョー・ガルシア・コロラド州副知事や大野郁彦在デンバー総領事(写真でスピーチ中)にもご出席いただきました。

ハワイ

(下)アニュアル・カンファレンスのメンバーズ・デーの一環として、重枝豊英総領事と同夫人のご厚意により、米日カウンシル・メンバーやゲストの方々(ジョン・V・ルース前駐日大使等:写真)を総領事公邸に招待いただきました。



ロサンゼルス

米日カウンシル対南カリフォルニア日系企業協会の第5回ソフトボール大会を開催しました。

地域プログラム



ポートランド

(左)ポートランドでのイベントで語るオレゴン州ヒルズボロ市長ジェリー・ウィリー氏とカウシル・メンバーのショー・ドウゾノ氏

シアトル

(左下)米日カウシルの現メンバーとメンバー候補のために開かれたシアトルのイベントで談笑するカウシル・メンバーのトム・イケダ氏とハロルド・タニグチ氏。本イベントには20名を超えるTOMODACH iLEAP Social Innovation in Seattle Scholarsプログラムの参加者も招待されました。

シリコンバレー

(中央下)米日カウシル評議員ヒロ・オガワ氏のご厚意で、ご自宅を再度会場にして、レセプションが開催されました。広島県知事でフレンド・オブ・ザ・カウシルの湯崎英彦氏、大分県知事広瀬勝貞氏、ノーベル賞受賞者でカウシル評議員の山中伸弥教授等、150名のゲストをお迎えしました。

東京

(右下)米日カウシルの女性幹部メンバーは、ウィメン・イン・ビジネス・サミットでスピーカーやモデレーターを務めた後、女性国會議員とのネットワーキング・イベントに参加しました。



在米大使、総領事及び在米日系人リーダー一年次会合



在米大使、総領事及び在米日系人リーダー一年次会合(CG-JA)は、外務省の支援を受け、米日カウシルと日本大使館が共催しています。

2014年10月のCG-JA会議では、参加者は戦後70年を迎える日米関係を含む、日米両国や世界が直面する課題について話し合いました。アイリーン・ヒラノ・イノウエと日本大使館の塚田玉樹総務公使(写真下)が共同で議長を務めました。日系アメリカ人18人のうち9人が米日カウシルのメンバーで、この一連の会談には20名を超える日本の政府関係者にご参加いただきました。また、佐々江賢一郎大使(写真上)の主催で、日系アメリカ人リーダー、総領事、名誉総領事を迎えての昼食会が大使公邸で開催されました。



TOMODACHIイニシアチブ:

TOMODACHIについて
TOMODACHIプログラム
TOMODACHI新生リーダープログラム
米日カウンシル・メンバーによるTOMODACHIへの貢献



TOMO
DACHI

TOMODACHIについて



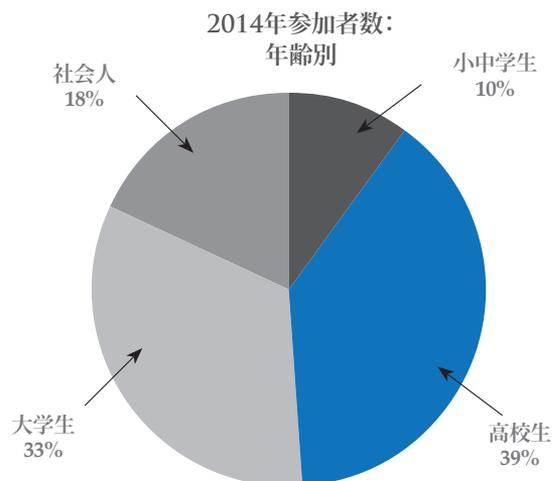
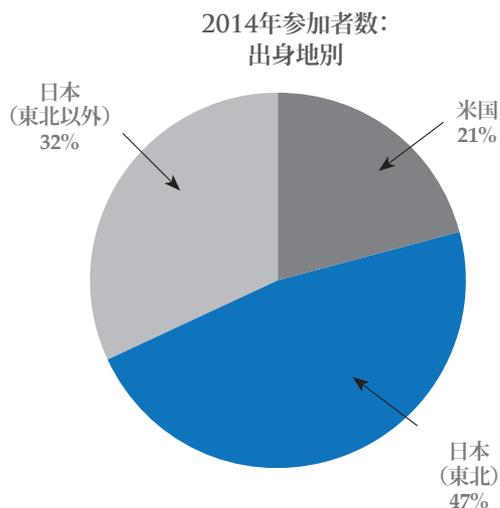
TOMODACHIイニシアチブは、東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す官民パートナーシップです。

TOMODACHIは公益財団法人 米日カウンシルージャパンと東京米国大使館が主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。米日カウンシルは同大使館や他のパートナーと協力し、日米関係の強化に深く関わる日米の若い次世代リーダーの育成を目指しています。

米日カウンシルージャパンは、TOMODACHIイニシアチブを支援するため、2012年に設立されました。2013年には公益財団法人に認定された米日カウンシルージャパンは、東京を本部としています。

2014年には、1300人以上が50ものプログラムに参加しました。

これまでに22,000人以上のアメリカ人や日本人がTOMODACHIのプログラムやイベントに参加しています。



TOMODACHIプログラム

「TOMODACHI誓約書」を書く、Building the TOMODACHI Generationプログラムの参加者。同プログラムでは、日米の大学生が社会問題の解決に取り組みます。

「多くの大切な教訓を学びましたが、最も強く印象に残ったのは日本とアメリカの大学生が互いによく似ているということでした。もちろん最初は文化の壁がありますが、それを取り除けば皆、世界をよりよくしようという決意をもった学生なのです。」

—TOMODACHIアラムナイ
クロエ・ウィンガーター氏



TOMODACHI Honda 文化交流プログラムに参加した東北の高校生。トモダチ作戦に参加した退役軍人たちと共にローズ・パレードに参加しました。

「私たちは日本の未来です。私たちのことは心配しないでください。50年後、私たちの孫は、この時を振り返り、おばあちゃんたちは日本を変えたTOMODACHI世代だと言ってくれるでしょう。」

—TOMODACHIアラムナイ
高木 香奈氏

日米の高校生による双方向交流事業、TOMODACHI米日ユース交流プログラムの参加者。ワシントンDCにて。



TOMODACHI MetLife Women's Leadership Programに参加した大学生たちは、ワシントンDCで開催された米日カウンシルのウーマノミクス・イベントに出席しました。

「自分がなぜ他の人たちの手助けをしたいのかが分かりました。また、なぜ皆がそうすべきなのかも。私は世界に希望と愛を届ける力になりたいのです。」

—TOMODACHIアラムナイ
マイカ・ガスリー氏



TOMODACHIプログラム



姉妹都市である宮城県仙台市とテキサス州ダラス市の中高生をつなぐ、TOMODACHIダラス・仙台ヤングアンバサダーズ・プログラムの参加者。



キャロライン・ケネディ大使と東京の大使公邸で面会するTOMODACHIデル・ノルテ高校2014年代表団。カリフォルニア州クレセントシティの高校生が岩手県陸前高田市の高校を訪問し、東日本大震災の津波で流されてきたボートを返却しました。

「このプログラムに参加し、文字通り人生が変わる経験をしました。このプログラムに参加して、アメリカで修士号を取ることを真剣に考えています。」

—TOMODACHIアラムナイ
吉田 悠氏

「このプログラムのおかげで、海外で何かしたいということばかり考えるようになりました。もちろんそれは日本が対象です。」

—TOMODACHIアラムナイ
コナー・フィールド氏



日米の若いプロフェッショナルのための代表団交流事業、TOMODACHI-Mitsui & Co. Leadership Programの参加者。サンフランシスコにて。

これらのプログラムは日米両国の企業の寛大なご支援により、可能となりました。2014年のこれら50のプログラムについての詳細は別途TOMODACHI活動報告書にまとめられています。詳細はwww.usjapantomodachi.orgをご覧ください。

TOMODACHIプログラム



科学、技術、工学、数学(STEM)を学ぶ日本の若者の代表として、6人のTOMODACHIアラムナイが訪日中のバラク・オバマ大統領と面会しました。



TOMODACHIアラムナイがアメリカンセンターで英会話のブラッシュアップに取り組みました。

TOMODACHI新生リーダープログラム



米日カウンシルの新生リーダープログラム(ELP)は、自らの専門分野において先駆者、革新者や起業家として活躍できるよう、次世代のリーダーを支える対話型教育プログラムです。

5年目を迎えた2014年のプログラムでは、12人の若い日系アメリカ人有識者がハワイ州ホノルルに集まりました。これら新進気鋭のリーダーたちはリーダーシップ・オリエンテーション・プログラムに参加し、ハイレベルのリーダーと交流し、メンバーズ・ミーティングにも出席しました。



アニュアル・カンファレンスに出席した2014年参加者のブランドン・マーク・ヒガ氏(中央)とジョージ・タケイ氏、ブラッド・タケイ氏

2014年参加者。米日カウンシル幹部やスポンサーの方々とともに。

「私たちには引き続き日米関係をよりよいものにする責任があります。各個人の取り組みが積み重なれば、米日カウンシルが示す目標に大きく近づけると信じています。」

—2014年参加者 如木 健士郎氏

米日カウンシル・メンバーによる TOMODACHIへの貢献

米日カウンシルのメンバーはさまざまな形で2014年のTOMODACHIプログラムの成功に貢献しました。メンバーは、自らの経験とリーダーシップを次の世代と共有することで、米日カウンシルのアンバサダーとなり、カウンシルの使命の実現に力を尽くしています。2014年の主な活動の一つとして、メンバーは、TOMODACHIイノウエ・スカラーズ・プログラムの企画・実施に大きな役割を果たしました。このユニークな交流事業は、日本政府のカケハシ・プロジェクトのもとで実施される、故ダニエル・K・イノウエ上院議員の生涯と業績を称えるプログラムです。



米日カウンシル・メンバーのカーティス・ルックス氏(ドア横)引率の下TOMODACHIイノウエ・スカラーズ・プログラムに参加した、ロヨラ・メリーマウント大学の学生を対象に、米日カウンシル評議員の藤崎一郎前駐米大使がスピーチを行いました。

「この経験は学生たちにとって、ハワイがどのように日米関係に貢献できるかを考える機会となります。このプログラムに参加する学生たちと同様、故イノウエ上院議員もハワイ大学の卒業生であることを誇りに思っていました。」

—ハワイ大学マノア校からのグループを引率したデニス・オガワ教授



TOMODACHI-Mitsui & Co. Leadership Programの日本人代表団を前に、米日カウンシル評議員会副会長のノーマン・ミネタ氏がワシントンDCでスピーチを行いました。



TOMODACHI Social Innovation in Seattle Scholars Programの卒業証書を授与するカウンシル・メンバーのブリット・ヤマモト氏(右)

役員・スポンサー等:

米日カウンシル理事会
米日カウンシル評議員会
米日カウンシル—ジャパン役員
役職者・スタッフ
スポンサーシップと支援
メンバーシップ
追悼の記



米日カウンシル理事会

(2014年12月時点)



(左から)米日カウンシル副理事長ゲイリー・モリワキ氏、カウンシル・メンバーの牧野容子氏、米日カウンシル評議員会副会長 田中正明氏



ハワイで話し合うトーマス 飯野理事長、アイリーン・ヒラノ・イノウエ会長、マイケル・ヒライ会計役ならびにその他の理事



トーマス飯野 創設理事長、 ありがとうございました

米日カウンシルは、退任された当カウンシルのトム飯野前理事長に心から感謝を申し上げます。素晴らしいリーダーシップを発揮し、当カウンシルに貢献し続けた飯野氏は、理事会より創設理事長の称号を授かり、役員会に残ります。飯野氏は2008年後半の創設時から2014年12月まで理事長を務められました。

理事会役員

トーマス 飯野 理事長

パシフィック・コマース銀行 取締役頭取

アイリーン・ヒラノ・イノウエ 会長

米日カウンシル 会長

ゲイリー・S・モリワキ 副理事長兼資金調達委員長

ウインデルズ・マークス・レイン・ミッテンドルフ法律事務所 パートナー

ヘンリー 太田 副理事長

弁護士

デニス・テラニシ 副理事長

PICHTR 社長兼CEO

マイケル・ヒライ 会計役兼財務委員長

ビショップ・ストリート・キャピタル・マネジメント 社長兼CIO

スーザン・モリタ 書記役

アーノルド・ポーター法律事務所
パートナー

理事

フィリス・キャンベル

JPモルガン・チェイス 太平洋西北地区長

ローヤン・ドイ プログラム企画委員長

ブルデンシャル・フィナンシャル
最高倫理責任者

トレイシー・ドイ

米国トヨタ自動車販売株式会社
副社長兼CFO

厚子・東光・フィッシュ

フィッシュファミリー財団 創設者

アーネスト・エム・比嘉

ヒガ・インダストリーズ 代表取締役会長兼
CEO、株式会社ジェーシー・コムサ 取締役
役、株式会社新生銀行 取締役

ロバート・イチカワ メンバーシップ委員長

コバヤシ・スギタ・ゴード法律事務所
パートナー

フレデリック・H・カタヤマ コミュニケーション委員長

ロイター・テレビ
アンカー兼プロデューサー

デイン 河野

増田・舟井・アイファート & ミッチェル法律事務所 プリンシパル

コルバート・マツモト

アイランド・インシュアランス社
代表取締役会長兼CEO

モーニ・ミヤシタ

マッキンゼー・アンド・カンパニー
シニア・アドバイザー

ジル・ニシ

ビル & マリンド・ゲイツ財団
米国プログラム 会長室長

アレン・M・オカモト

T. オカモト & Co. 社長

スーザン・J・オオヌマ 監査委員長

イングラム・ユーゼック・ゲイネン・キャロル・
ベルトロッティ法律事務所
パートナー兼アジア・グループ代表

ウォーレス・K・ツウハ

ツウハ財団 理事長

ジャン・ヤネヒロ 推薦兼ガバナンス委員長

ジャン・ヤネヒロ社 社長

ポール 与那嶺

日本アイ・ビー・エム株式会社
取締役副社長執行役員

米日カウンスル評議員会

(2014年12月時点)



評議員の川村隆氏(右)。2014年のアニュアル・カンファレンスにて、奥様の祥子氏と。

評議員会役員

ダニエル・オキモト 会長

スタンフォード大学 名誉教授、シヨレンスタ
インAPARC名誉所長、FSIシニア・フェロー

ノーマン・Y・ミネタ 副会長

ミネタ・アソシエーツ 社長兼CEO、
元米国運輸長官、元米国商務長官

田中 正明 副会長

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役副社長

評議員

阿川 尚之

慶應義塾大学 教授

ジョージ・アリヨシ

元ハワイ州知事

ジェラルド・カーティス

コロンビア大学 政治学教授

グレン・S・フクシマ

米国先端政策研究所 上級研究員

藤崎 一郎

元駐米特命全権大使

福田 康夫

元内閣総理大臣

福武 総一郎

ベネッセホールディングス 取締役会長

コリーン・ハナブサ

元米国連邦下院議員(ハワイ州)

長谷川 閑史

武田薬品工業株式会社
代表取締役取締役会長兼 CEO

メイジー・ヒロノ

米国連邦上院議員(ハワイ州)

加藤 良三

元駐米特命全権大使

川村 隆

株式会社日立製作所 相談役

国谷 裕子

NHK キャスター

ドリス・マツイ

米国連邦下院議員(カリフォルニア州)

新浪 剛史

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長

ヒロミツ・オガワ

CAIインターナショナル 会長

ジョン・オノダ

フライシュマン・ヒラード・インターナシヨナル・コミュニケーションズ
シニア・コンサルタント

W・ダグラス・パーカー

アメリカン航空 代表取締役会長兼CEO

スーザン・H・ルース

ルース・グループ法律事務所
最高執行責任者

櫻井 本篤

ジャパン・ソサエティー 理事長、
元在ニューヨーク総領事(大使)

ジョン・トーマス・シーファー

アンヴォイ・インターナショナル 代表取締役
社長兼CEO、元駐日特命全権大使

ジョージ・タケイ

ホサト・エンタープライズ社 俳優

ポール・テラサキ

テラサキ財団 会長

ロイ・ヤマグチ

「Roy's」 オーナーシェフ

クリスティー・ヤマグチ

オールウェイズ・ドリーム財団 創設者

山中 伸弥

2012年ノーベル賞 受賞者、
京都大学iPS細胞研究所 所長

名誉評議員

河野 洋平

元衆議院議長

ウォルター・モンデール

元米国副大統領、元駐日特命全権大使

大河原 良雄

世界平和研究所 常勤顧問、
元駐米特命全権大使

斉藤 邦彦

元駐米特命全権大使

白井 克彦

前早稲田大学総長

柳井 俊二

国際海洋法裁判所裁判官、
元駐米特命全権大使

米日カウンスル—ジャパン

理事会ならびに評議員会

(2014年12月時点)

理事会

アーネスト・エム・比嘉 代表理事

ヒガ・インダストリーズ 代表取締役会長兼CEO、株式会社ジェーシー・コムサ 取締役、株式会社新生銀行 取締役

アイリーン・ヒラノ 副理事長

米日カウンスル 会長

デービッド・ニシダ 専務理事

ハドソン・ジャパン株式会社

代表取締役社長兼チーフファイナンシャルオフィサー

ウィリアム・ジーザス・アイアトン

ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社

代表取締役社長

川原・K・ラッセル

渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー

ジェイムズ・ミナモト

アンダーソン・毛利・友常法律事務所

シニア・フォーリン・カウンスル 外国法事務弁護士

評議員会

ポール 与那嶺 会長

日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役副社長執行役員

ローヤン・ドイ

プルデンシャル・フィナンシャル 最高倫理責任者

ダニエル 藤井

ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社 代表取締役

キャシー 松井

ゴールドマン・サックス証券株式会社

マネージング・ディレクター兼チーフ日本株ストラテジスト

スコット 佐藤

株式会社パソナ 代表取締役社長

役職者・スタッフ

ワシントンDC 本部:

アイリーン・ヒラノ・イノウエ 会長

スザンヌ・バサラ

取締役副会長兼COO

リーリー・タン

財務・総務担当ディレクター

ジョージェット・A・古川・マルティネス

ディベロップメント・ディレクター

マイヤ・フィッシャー

プログラム・マネージャー

シェイン・グレイブス

プログラム・マネージャー

岡崎 詩織

コミュニケーションズ・マネージャー

ティム・ホワイト

メディア・スペシャリスト兼

オペレーショナル・サポート

丸山 ユリ

ディベロップメント・コーディネーター

亀元 愛未 レア

エグゼクティブ・アシスタント

ロサンゼルス:

野々山 浩代 日米プログラム・ディレクター

村田 アリソン

メンバーシップ・マネージャー兼プログラム・スペシャリスト

サンフランシスコ:

万庭 和夫 上級副会長

東京:

ローラ・ウィンスロップ・アボット

TOMODACHIイニシアチブ 事務局長

安永 修章 渉外担当ディレクター*

堀田 満代

TOMODACHIイニシアチブ

プログラム・マネージャー*

長尾 純子

TOMODACHIイニシアチブ

アラムナイ・マネージャー*

宇多田 カオル

TOMODACHIイニシアチブ

プログラム・マネージャー*

アレクシア・ディアルコ

TOMODACHIイニシアチブ

プログラム開発コンサルタント

アマンダ・チェルザット

TOMODACHI イニシアチブ

プログラム・コーディネーター

森本 佳奈子

TOMODACHIイニシアチブ

マーケティング・スペシャリスト*

アンドリア・ミラー

TOMODACHIイニシアチブ

マーケティング & コミュニケーションズ・

コーディネーター

加藤 ひろみ

TOMODACHI イニシアチブ

アドミニストレイティブ・アシスタント*

*米日カウンスル—ジャパンのスタッフ

スポンサーシップと支援

米日カウンシルは、企業、個人、財団法人等の皆様による寛大な寄付によって支えられています。当カウンシルは、人と人とのつながりを通じて日米関係を強化するという目的を、こういったスポンサーの方々と共有しています。スポンサーの皆様によるご支援、また、法人会員の皆様による継続的なご支援に感謝申し上げます。

プラチナ・スポンサー



ダイヤモンド・スポンサー



タイトル・スポンサー



テラサキ・ファミリー財団

シグネチャー・スポンサー



福武 総一郎



ヒロミツ・オガワ

大塚普門 & 房子



プレミア・スポンサー



厚子・フィッシュ



デュエイン・クリス



モーニ・ミヤシタ



デービッド・ニシダ



ポール 与那嶺

ゴールド・スポンサー



アーネスト・エム・比嘉

マイケル・K・ヒライ

アイリーン・ヒラノ・イノウエ

トーマス 飯野



JPMORGAN CHASE & Co.



コルバート・マツモト

ヘンリー 太田



ポール・リーゼンツ



デニス・スギノ



支援者

ウェンディ・アベ Academy of Art University	ジョナサン・スチュワート・マラマッド ナンシー・マツモト
天野 雅晴	村瀬 悟
スザンヌ・バサラ	中山 正澄
パニース・パウアーズ	新原 豊
フィリス・キャンベル	ジル・ニシ
ドナ・コール	大出 隆
スティーブン・デイカス	大河原 愛子
アーネスト・ドイザキ	ローレンス・S・オキナガ
ダイアン・フカミ	スーザン・J・オオスマ
古川 康 知事	カート・オタグロ
バック・ジー&メアリー・ハッケンブラクト	クリアー 斎藤信子
グレン・ゴンドウ	ジョン・トーマス・シーファー大使
ダグラス・ゴトウ	関満 一郎
ブレンダ・ハンドリー	鈴木 喜輝
ウォーレン・ハルキ	リンダ・タイラ
ラッセル・ハタ	ケンタ・タカモリ
バーバラ・ヒビノ	デニス・テラニシ
比嘉 ジェームス	スティーブン・テラオカ
ロバート・K・イチカワ	キース・テラサキ
ウィリアム・アイアトン	寺尾 のぞみ
伊藤 穰一	ジュエル・ヤマダ
フレデリック・H・カタヤマ	クリスティー・ヤマグチ
川原・K・ラッセル	ロイ・ヤマグチ
川勝 平太 知事	マーク・ヤマカワ
黒川 曙美	ジャン・ヤネヒロ
桑名 英一郎	萬 タシャ
Kyo-ya Co., LLC	湯崎 英彦 知事

2014年 法人会員

American Airlines, Inc.	株式会社LIXILグループ
American Honda Motor Co., Inc.	Lockheed Martin Corporation
Central Japan Railway Company	丸紅株式会社
セントラルパシフィックバンク	三菱商事
Deloitte LLP	三井物産株式会社
株式会社電通	MUFG (Mitsubishi UFJ Financial Group)
Ernst & Young LLP	米国日本通運株式会社
First Hawaiian Bank	野村グループ
株式会社日立製作所	株式会社リコー
Island Insurance Companies	Sojitz Corporation of America
伊藤忠インターナショナル会社	住友商事株式会社
ITO EN (North America) Inc.	Toshiba America, Inc.
日本空港ビルデング株式会社	トヨタ自動車株式会社
J.C.C. Fund	株式会社うかい
Kawasaki Heavy Industries (USA) Inc.	

契約・助成金

在日米商工会議所
国際交流基金日米センター
外務省
以下の県の県庁:

- 福岡県
- 広島県
- 大分県
- 岡山県
- 佐賀県
- 静岡県

 笹川平和財団

現物寄付

aio Group	Joy of Sake
American Airlines, Inc.	マーケット・アドバンテージ
アンハイザー・ブッシュ(キリンビール)	オレロ・コミュニティ・メディア
Big Island Candies, Inc.	OmniTrak Group Inc.
ドナ・コール	Roberts Hawaii Tours, Inc.
GE Japan Corporation	Roy's Restaurants
Halekulani	Southern Wine & Spirits of Hawaii
Hawaiian Host, Inc.	テラサキ・ファミリー財団
Hawaiian SHOCHU Company	ザ・パシフィック・ブリッジ・カンパニーズ
Hawaiian Springs LLC	T. Okamoto & Co.
ITO EN (North America) Inc.	株式会社うかい

認定レベル

プラチナ・スポンサー	(\$100,000+)
ダイヤモンド・スポンサー	(\$75,000-\$99,999)
タイトル・スポンサー	(\$50,000-\$74,999)
シグネチャー・スポンサー	(\$25,000-\$49,999)
プレミア・スポンサー	(\$10,000-\$24,999)
ゴールド・スポンサー	(\$5,000-\$9,999)
支援者	(\$1,000-\$4,999)

組織名・人名は各カテゴリ内で英語表記順を採用しています。

米日カウンスルの監査済み財務諸表はこちらのウェブページにてご覧いただけます: www.usjapanCouncil.org/operations

メンバーシップ

(2014年12月時点)

米日カウンシルは、組織の使命を共有するメンバーと支援者で構成されています。この中には、**大企業や学术界、研究機関、政界、法曹界のトップや起業家、思想的指導者**も含まれます。「**カウンシル・メンバー**」は日米関係構築に貢献する日系アメリカ人のリーダーです。「**アソシエイト・メンバー**」は若い有識者です。「**フレンズ・オブ・ザ・カウンシル**」は多様な出身や立場の、米日カウンシルを支援する個人です。「**法人会員(コーポレート・メンバー)**」は、カウンシルの使命やプログラムを年単位で財政支援する企業です。

当カウンシルの上記全メンバーの一覧はウェブサイト(www.usjapancouncil.org)でご覧いただけます。

地域別の内訳



米国

- カウンシル・メンバー: 287
- アソシエイト・メンバー: 59
- フレンズ・オブ・ザ・カウンシル: 9



日本

- カウンシル・メンバー: 26
- アソシエイト・メンバー: 7
- フレンズ・オブ・ザ・カウンシル: 13



香港

- カウンシル・メンバー: 1



欧州

- カウンシル・メンバー: 1

● カウンシル・メンバー: 315 ● アソシエイト・メンバー: 66 ● フレンズ・オブ・ザ・カウンシル: 22

部門別の内訳



非営利団体

100



企業

241

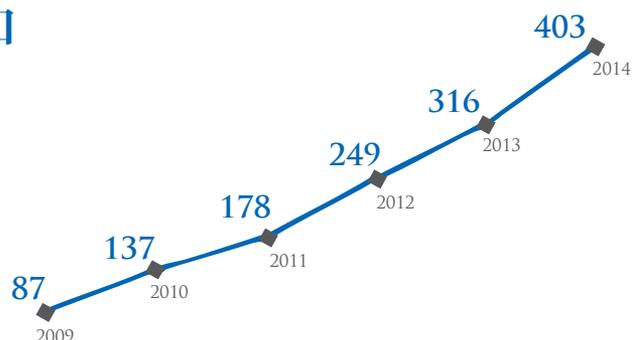


政府

62

メンバーの増加

(2009-2014年)



追悼の記

2014年に米日カウンスルは下記の大切な方々をなくしました。日米関係の緊密化にご尽力くださったこれらのリーダーの方々の功績を振り返ります。



ハワード・H・ベーカー・ジュニア

1925-2014年

ベーカー大使は2001年から2005年まで駐日米国大使を務められました。それ以前は18年間テネシー州選出上院議員であり、その間、上院少数党院内総務(1977～81年)や上院多数党院内総務(1981～85年)を務められました。その後はロナルド・レーガン大統領の首席補佐官(1987～88年)も務められました。大統領自由勲章(1984年)、日本政府からの桐花大綬章(2008年)等を受章されています。米日カウンスル評議員でもありました。



カルビン・K・マンショウ

1947-2014年

マンショウ氏は日系アメリカ人コミュニティの中で中心的な役割を果たされました。長年米日カウンスルの活発なメンバーであった同氏は、シカゴ日米評議会とシカゴ日本共済会の会長も務められました。2009年には日米関係への貢献により外務省から表彰されました。また、在米日系人リーダー訪日プログラムと在米大使、総領事及び在米日系人リーダー年次会合にも参加されました。



ベティ・J・オガワ

1944-2014年

オガワ夫人は、米日カウンスル評議員であるご夫君のヒロミツ・オガワ氏とともに、当カウンスルの活発なメンバーでした。同夫妻は20年間東京に在住され、同夫人は日米に特化した異文化コンサルタントとして活躍されました。ご家族は近年はシリコンバレーにお住いになり、ここで同夫人はQuest Venture Partnersのパートナーとなられ、北カリフォルニア日本協会の役員も務められました。2011年には、同夫妻は東日本大震災の被災者支援のため100万ドルを超える義援金を集め、シリコンバレーのファンドレイジング協会から表彰されました。2013年にはアサートンのご自宅で北カリフォルニアの米日カウンスルのメンバーを招いたレセプションを主催されました。同夫人の遺志を継ぎ、オガワ氏は2014年7月にも再度レセプションを主催して下さいました。

米日カウンスルは、亡くなられた友人や支援者の方々に哀悼の意を捧げます。彼らの数々の貴重な貢献は我々の記憶に永遠に残るでしょう。



www.usjapancouncil.org
contact@usjapancouncil.org

ワシントンDC本部

1819 L Street, NW, Suite 200
Washington, DC 20036

Tel: (+1)(202) 223-6840

Fax: (+1)(202) 280-1235

東京事務所

〒102-0094 東京都千代田区
紀尾井町4-1
ニューオータニ ガーデンコート 12階

Tel: (03) 4510-3400

Fax: (03) 4510-3419

ロサンゼルス事務所

2207 Colby Avenue
Los Angeles, CA 90064

Tel: (+1)(310) 500-2873

 www.facebook.com/usjapancouncil

 @USJC | #JpnAms

 www.linkedin.com/company/the-u.s.-japan-council

 www.flickr.com/photos/USJC/

 www.youtube.com/USJapanCouncil